

## エシカルファッションは日本で流行？

ライター：佐藤山葉、武田紗弥 エディター：谷藤莉理子

ZARA, H&M, GAP ... 私たちにも馴染みのあるファストファッションブランドは2000年以降、アジア最安賃金となったバングラディッシュにその製造拠点を移し始めた。バングラディッシュでは400万人が洋服の製造に従事するものの、彼らの労働環境、状況は極めて劣悪。工場が入居したビルが崩壊しおよそ400人労働者が犠牲となる事故も起きた。無理な増設や作業の強行によって起こったこの事故は衣料品工場の劣悪な労働環境を世界に知らしめた。

こうした激安商品製造のための犠牲を受けて、今、世界でエシカルファッションが台頭してきている。エシカルファッションとはその名が指すように、倫理に適ったファッションのことである。値段は高くても適切な労働環境で製造されている、という点でファストファッションと異なる。エシカルファッションの存在は2016年現在、日本でも徐々に認知されるようになってきた。

2015年12月4日に、早稲田大学構内の会場にて、早稲田大学のボランティアサークル、フェアトレード推進団体CafaireによるFairtrade Fashion Showが開催された。エシカルファッションブランドであるINHEELS, People tree, Liv'ra, timberlandの服を纏った学生モデル17人がランウェイを歩く大規模なファッションショー。これを取り仕切ったCafaireは、現在部員7人という、意外にも小規模な団体だ。

ファッションショーはすべて学生たちの手で作り上げられた。「経費削減のために各ブランドに頼み込んで服は無料でレンタルしてもらい、配送料もかからないように店舗まで自分たちで取りに行った」と駒澤大学経済学部3年の青山実樹さんは語る。コーディネートは専門学校で服飾を学ぶ友人に手伝ってもらい、モデルは早稲田大学のファッションサークルであるWaseda Collectionのモデルたちに出演してもらった。モデルたちのメイクにもフェアトレード商品が使用され、ショーを通じてフェアトレード、エシカルファッションについて知ってもらえたという。

エシカルファッションと一口に言っても、様々な取り組み方がある。「着捨てファッション」の現在において、1着の服を長く着ることもエシカルファッションと言える。お気に入りの1着を見つけて、その服を長く着る。そのお気に入りのを見つけるまでを楽しむのも、エシカルファッションの魅力の1つだ。Cafaire代表の早稲田大学商学部3年の生駒莉菜さんは、ファッションショーの経験から「ファストファッションの服を見ても、その生産の裏側を想像することで、

あまり買わなくなった」と語る。

「自分が気に入って買った服がエシカルファッションだったらいい」というのが **Cafaire** の考え方である。そのためにはエシカルファッションがより普及し、ファストファッションブランドと同じような選択肢のひとつになればいいと考える。

#### 編集後記

自分がエシカルファッションを知るきっかけとなった **Cafaire** さんに取材をすることができ、大変嬉しかった。大きなファッションショーなのに実際にお会いしてみると人数が少なく驚いた。記事を書くにあたって、様々なエシカルファッションについての記事を読んだが、エシカルファッションには人それぞれの捉え方があるのだと思った。この記事を通してエシカルファッションがもっと広まってほしい。(佐藤山葉)

今日まで、特に若者の間では安くて流行に合ったファストファッションが求められてきました。しかし、安くていい服の背景には低賃金や過酷な労働があることに気づかされました。この記事が少しでも多くの人にこの現状を知ってもらい、エシカルなファッションを少しでも意識してもらうきっかけになればいいなと思います。今回は初めて人に読んでもらう記事を書くこと携わらせていただきました。もっと人々の興味を引くような記事を書けるようになりたいと思いました。(武田 紗弥)